

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

市川市市制施行 80 周年記念・中央図書館開館 20 周年記念

◆◆◆-----
◆◆ 市川市立図書館メールマガジン 第 51 号 2014.4.20
◆-----

ゴールデンウィークも間近となりました。図書館で旅行のガイドブックを借りて旅の参考にされる方も多いのではないのでしょうか。家でのおんびり過ごす予定の方はぜひ図書館にご来館いただき、読書のひとときをお楽しみください。

■ ■ 図書館からのお知らせ □-----

◆ 中央、行徳、市川駅南口図書館はGW期間も開館します。

○ 4月 26 日から 5 月 6 日までのGW期間中、この 3 館は 4 月 28 日(月)、30 日(月末館内整理日)を除きすべて開館しています。なお、5 月 7 日は振替で全館休館となりますのでご注意ください。

図書館の開館カレンダーはこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1052.html#04>

■ ■ こどもとしょかんからのお知らせ □-----

◆ 「はるかぜえほんの会」を開催します！

○ 開催日時 平成 26 年 4 月 26 日(土) 午後 2 時～2 時 30 分

○ 場所 中央図書館内こどもとしょかん くつろぎ広場

○ 対象 3 才～

○ 申込み 事前申込みなし。自由参加(当日 5 分前にこどもとしょかん集合)

◆ 子ども読書の日(4 月 23 日)にちなみ、大型絵本やパネルシアターなど、いつものえほんの会を拡大した形の「はるかぜえほんの会」を開催いたします。暖かい春の日差しの中、ご家族一緒にのんびりと絵本を楽しんでみませんか。

◆ 4 月 23 日は、「サン・ジョルディの日」。スペインのカタロニア地方の祝祭日で、女性が男性に本を贈る日とされており、日本でも書店を中心に広められました。この日は、『ドン・キホーテ』の作者セルバンテスの

命日でもあり、スペインでは「本の日」とされています。またこの日は、スペインからの提案により、1995年のユネスコ総会で「世界図書・著作権デー」として採択されました。

■ ■ 文学賞の受賞情報 □ -----

◆ 上橋菜穂子氏が国際アンデルセン賞を受賞しました。

○ 「守り人」シリーズなどのファンタジー小説で知られる作家で文化人類学者の上橋菜穂子氏が、国際アンデルセン賞の作家賞に選ばれました。国際アンデルセン賞は「児童文学のノーベル賞」ともいわれ、日本人の作家賞の受賞は1994年のまど・みちお氏以来、2人目の快挙となります。○ 上橋氏の本は図書館でも所蔵しています。ぜひ一度作品を手に取り、作品の持つ壮大かつ緻密な世界観をお楽しみください。

○ 上橋氏の本をいくつかご紹介します。

◇ 『獣の奏者：全4巻』上橋菜穂子／作（講談社 2006～）

リョザ神王国では、「王獣」は真王の王位の象徴として保護され、その臣下である大公は「闘蛇」を戦いの武器として大切に育てていた。王国に住むエリンの母は闘蛇の世話をする闘蛇衆だったが、闘蛇が死んだ責任をとらされてむごい殺され方をする。母の決死の行動で村から逃れたエリンは、ジョウンという蜂飼いに助けられ、獣の医師になるため勉強をはじめた。しかし、王獣と心を通わせるすべを身につけてしまったため、真王と大公の政治的争いにまきこまれてゆくことになる。運命に翻弄されながらも自らの信念を貫く少女の骨太の物語。

◇ 『狐笛のかなた』上橋菜穂子／作，白井弓子／画（理論社 2003）

霊狐は、狐から時には人の姿となって、呪者の命令に従い生き物を殺す定めをもつ。湯来ノ国の霊狐である野火は、幼い頃、敵国である春名ノ国の少女、小夜に命を助けられて以来、彼女のことを忘れることができなかった。敵の破った術を繕うことのできる才を持つことにより、ふたつの国の争いに巻き込まれていく小夜。そんな小夜を陰から見守り続けていた野火は、自分の命を危険にさらしてまでも小夜への思いを貫きとおすのだった。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
